

### 第二十六回 第六小学校 区民防災運動会

十月十五日前日降った雨もすっきり上がり、絶好の運動会日和となった日曜日、前回に続いて第二十回防災運動会が開催されました。競技はシェイクアウト訓練から始まり、第六小学校の児童の考案した競技「津波から逃げ切れ」や、「有事の際はおまかせあれ！」など防災にかかわる新しい競技も加わり、大変盛り上がった運動会になりました。



校庭に「六」の文字ができました

殊に、今年初めて取り組んだ人文字は圧巻で、第六の「六」の字を児童生徒が作り、その周りを地域のひとびとや保護者が円を描いて取り囲み仕上げました。校舎の三階のベランダから撮影



「津波から逃げ切れ」



「有事の際はおまかせあれ！」

された写真には、しっかりと「六」の字が浮かび上がり第六校区の人々の連携と一体感がしっかりと描かれました。また、恒例の餅まきや、お楽しみ抽選会も三百名近い参加者を得て楽しい秋のひと時を地域の子供たちと共に過ごすことができました。最後に、区民運動会実行委員会から、毎年温かいお気持ちの広告協賛をいただいております地域の皆様にご心より感謝申し上げます。

### 親子ふれあい 防災デイキャンプを実施

猛暑の続く夏休み、七月二十三日（日曜日）、第六小学校において「親子ふれあい防災デイキャンプ」が実施されました。午前十時、体育館で開会式ののち避難所開設訓練、続いて防災映画の鑑賞、竹の食器を作って、長さ十五メートルほどの竹どいを使った「流しそめん」で楽しい昼食。午後は、緊



記念撮影



消火器の使い方

急避難場所に指定されている「県民文化ホール」で防災設備見学を行いました。真夏の日差しが降り注ぐ屋上へ、冷房の効いていない階段を上っていくのが避難は大変な重労働でした。帰り道、木立の参道を抜けて山内神社に立ち寄り、第六校区の地域の安全と参加者の健康と幸せを祈念して正式参拝を致

しました。小学校に帰って消火器の使い方を学び、自衛用の非常食用ビニール袋によるお米の炊き出しでカレーをいただき無事終了いたしました。今回の参加者は、児童生徒十二名・保護者十二名・スタッフ十六名・計四十名の参加者で実施されました。



流しそめん

### 第三十六回 夏休みラジオ体操会を開催

今年も七月二十四日より八月十八日まで約一か月の間、第六小学校のグラウンドで早朝、午前六時三十分より土曜・日曜を除く毎日、校庭のイチョウの木の下でラジオ体操第一と第二が放送され、朝のすがすがしい日差しをいっぱいを受けて実施されました。夏休み前半は毎日五〇名を超える参加で賑わっていました。八月に入って



ラジオ体操最終日の記念撮影

天候の不順が続き後半はほとんど毎日中止を余儀なくされ、実質半月ぐらいの開催となりました。それでも最終日には約六十名の参加があり、皆勤賞十九名、優秀賞十八名が表彰されました。近年は地域の高齢者の方々の参加があり、とても有り難く感謝申し上げます。



ラジオ体操の様子

### あともがき 「ワラとふれあいワラと遊ぼう」

十一月二十五日第六小学校体育館において「ワラとふれあいワラと遊ぼう」と題して第六青少年協の主催でコモ編み体験が実施されました。当日は七つの小学校から児童三十名、保護者十七名スタッフ三十四名、計八十名の参加があり、コモ編み台「こませ」が十五台、ブルーシートの上に敷かれたムシロの上に設置され、樫の木で作られた一人につき八個のこま「つちのこ」を前後に絡ませながら「コモ」を編み上げました。「コモ」はワラすべ



コモ編み

を三本ずつ編み上げたもので、大切なものを乗せるための敷物や買い物かご、炭俵など、ひと昔前までは生活のあらゆる場所で使われたものです。編み上げた後、こまと松ぼっくりでクリスマスツリーを作りました。夕刻には七校区のスタッフに薬焼きタタキがふるまわれ反省会が行われました。 K・M